

第6回eモニターアンケート「防災対策について」

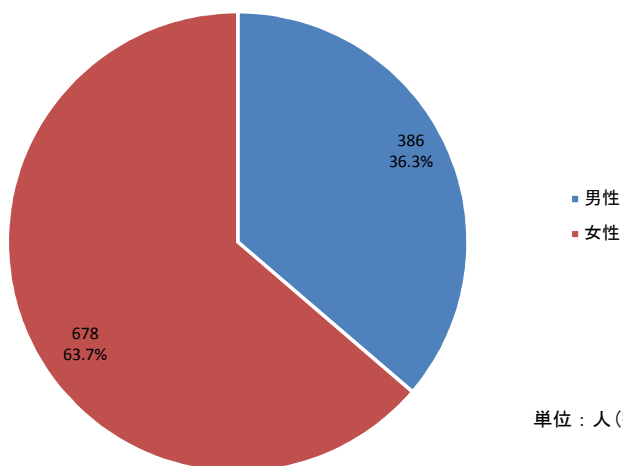
実施期間
回答数

平成30年9月26日
1064 人

～

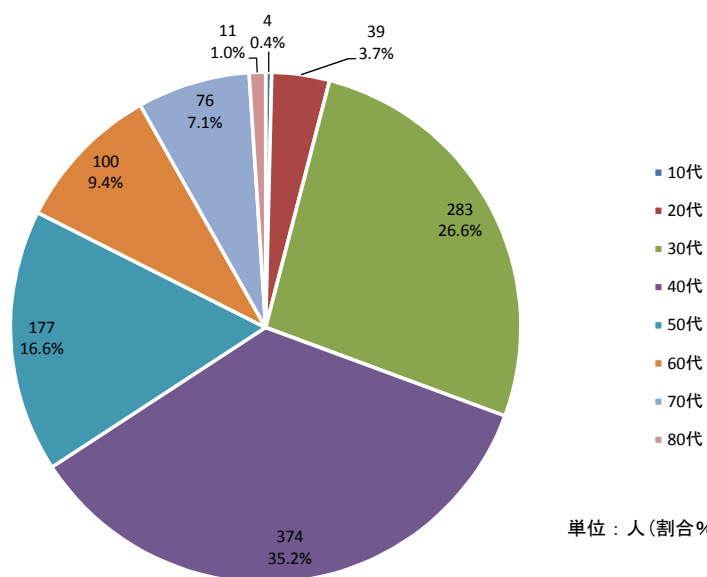
平成30年10月3日

性別



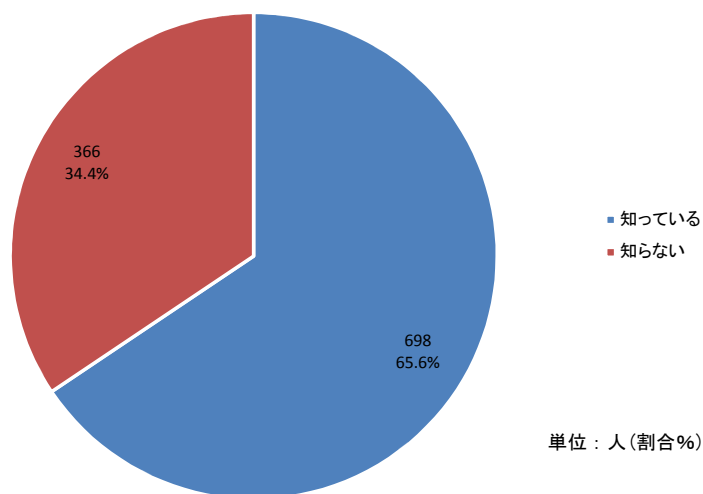
単位：人(割合%)

世代別

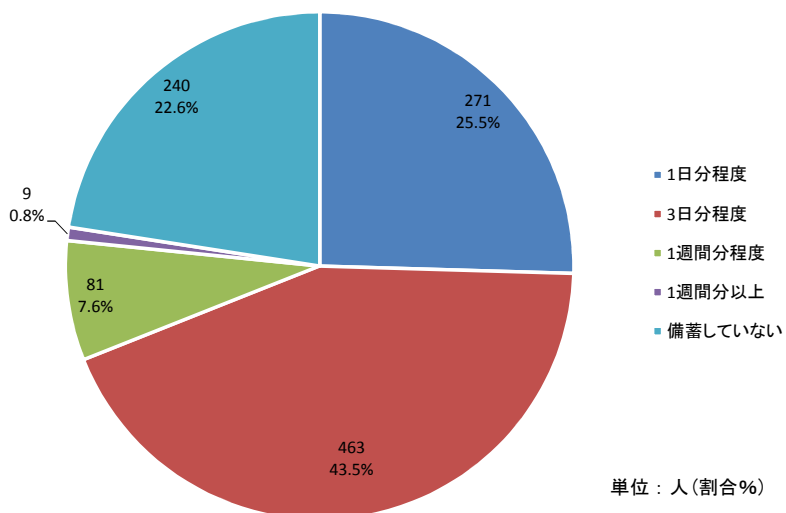


単位：人(割合%)

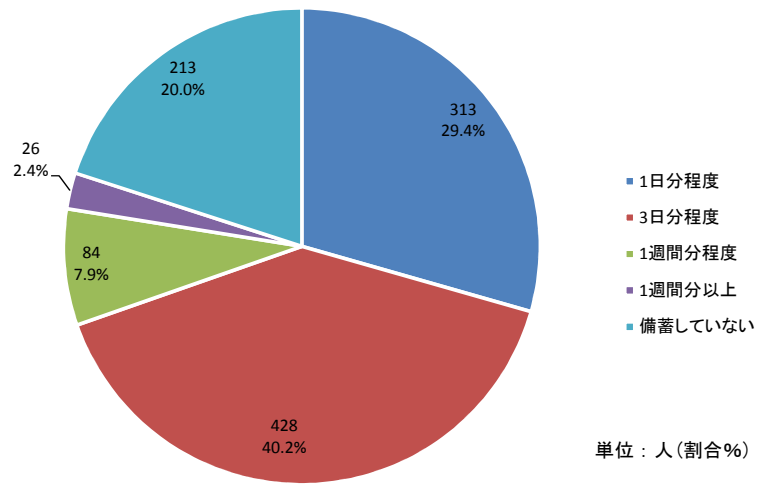
問1: 非常食や飲料水は、1週間分程度の備蓄が必要と言われていますが知っていますか。(飲料水は1人あたり1日3リットルが目安です。)



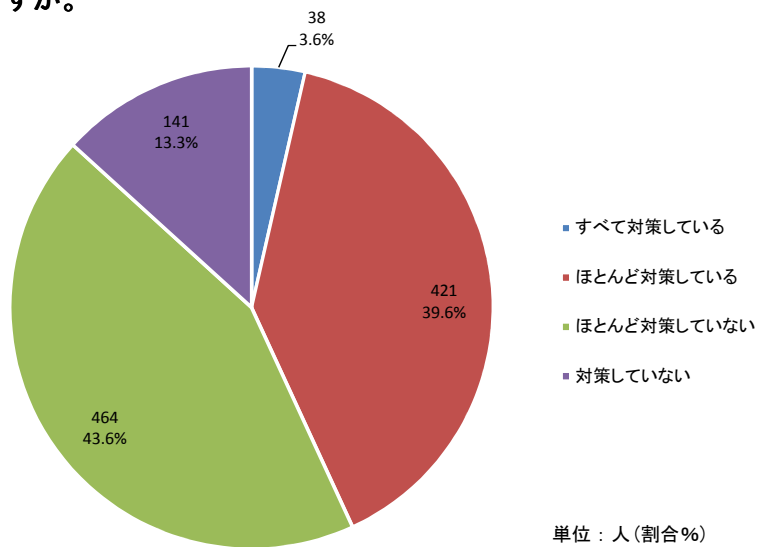
問2: あなたの家庭では、非常食を何日分備蓄していますか。



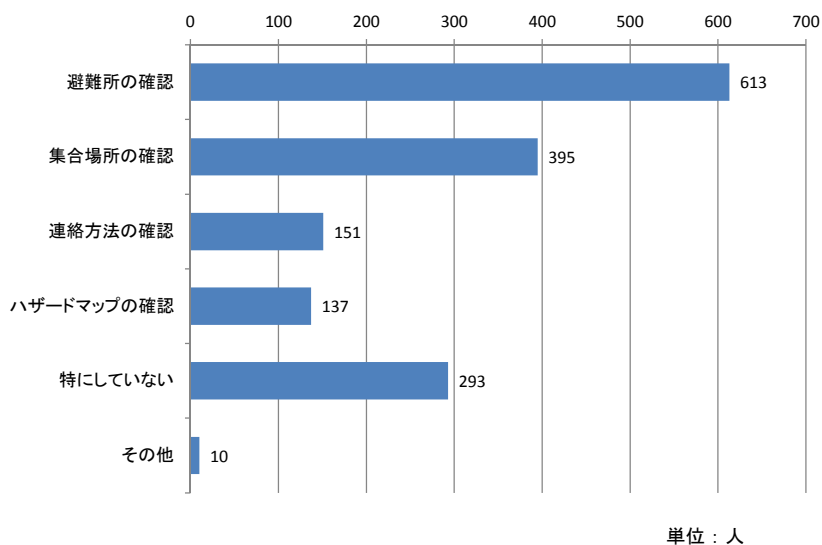
問3: あなたの家庭では、飲料水を何日分備蓄していますか。



問4: 自宅の家具類は転倒や落下防止等の対策をしていますか。



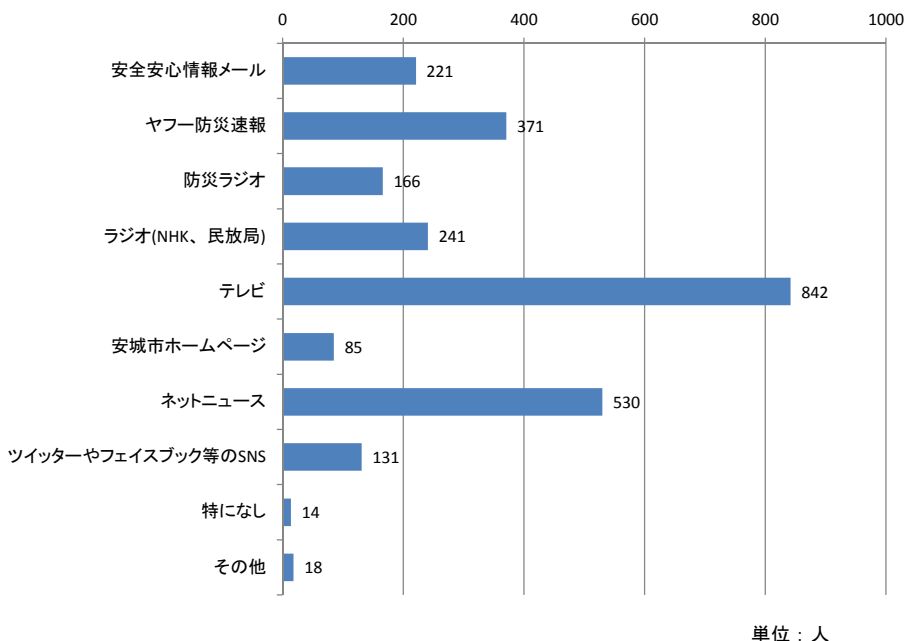
問5:あなたの家庭では、自宅からの避難に備えて、どのような話し合いをしていますか。(複数回答可)



その他と回答した人の意見（抜粋）

- ・一人暮らしなので話し合いはしていない
- ・ペットを連れてどう避難するか
- ・災害用伝言板を使用すること

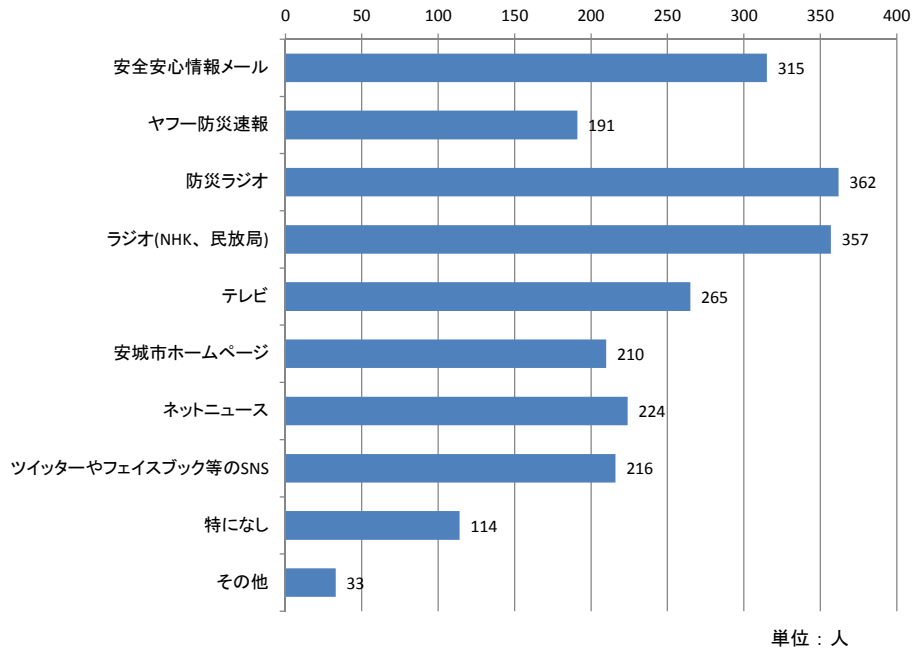
問6:あなたは、台風や豪雨等の災害時にどのような手段で情報を得ていますか。(複数回答可)



その他と回答した人の意見（抜粋）

- ・NHK防災ニュース
- ・JAF
- ・KATCHチャンネル
- ・気象庁ホームページ
- ・インターネットラジオ
- ・天候アプリ
- ・職場からのメール
- ・携帯の緊急速報
- ・ウェザーニュース(Web)
- ・「KATCH災害情報」のサイト

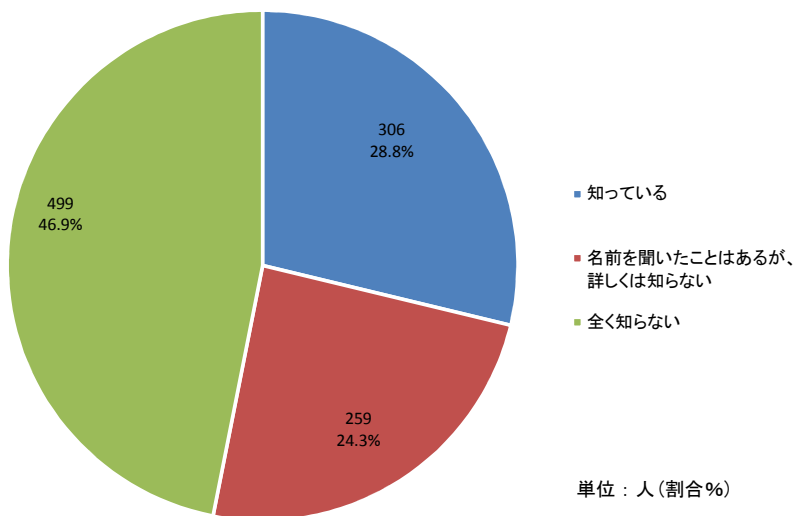
問7: 問6のほかに、災害時にどのような手段の伝達方法が有効だと思いますか。(複数回答可)



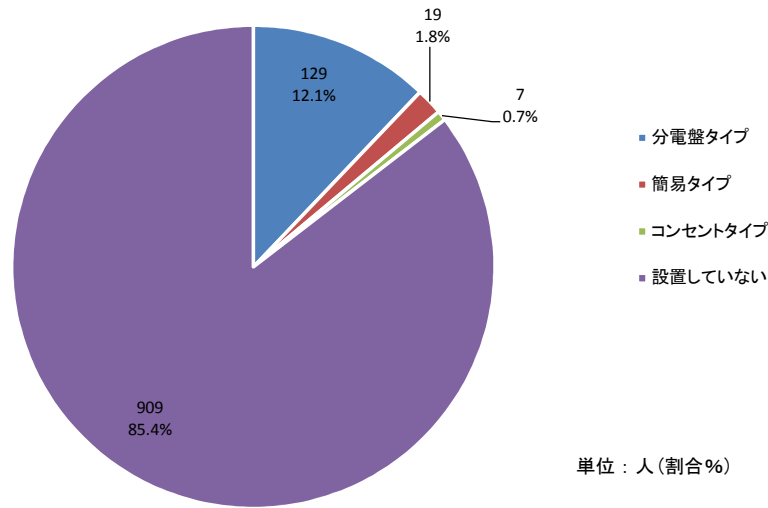
その他と回答した人の意見（抜粋）

- ・地域の避難サイレン
- ・防災無線
- ・消防署などがスピーカーでアナウンスする
- ・町内放送、車での巡回放送。意識せずに情報が入ってくるから。
- ・私はスマホでないので、周囲の人のスマホに頼るか、避難所に張り紙をしてもらわないと情報を得られない
- ・災害伝言メッセージ
- ・停電時は町内での連絡網
- ・地域の防災組織による連携に期待します。
- ・携帯又はスマホでアプリのように直ぐに確認ができる手段がありがたいです。

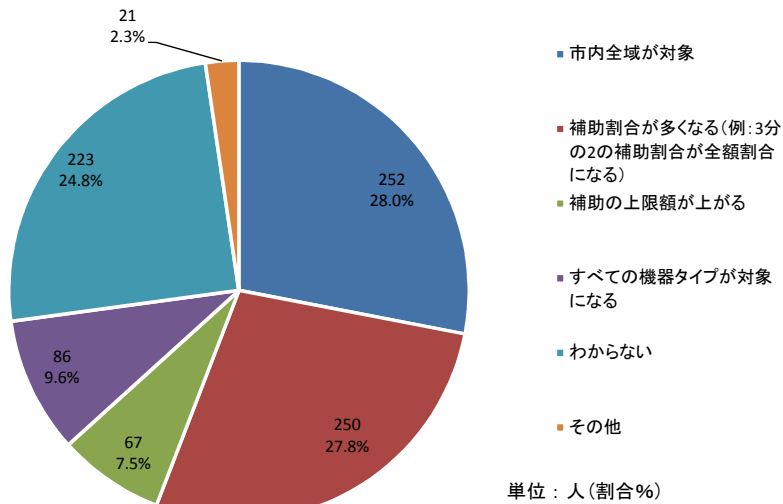
問8: 感震ブレーカーを知っていますか。



問9: 感震ブレーカーを設置していますか。設置している場合は、どんなタイプですか。



問10: 現行の感震ブレーカー設置補助制度が、どのような内容に拡大すれば、設置したいと思いますか。



その他と回答した人の意見（抜粋）

- ・全ての機器が対象で補助が全額出る
- ・設置をしたいと思うのですが、一般的なものがうちのブレーカーには使えません。
- ・そもそも感震ブレーカーについての知識がないので、設置したいと思う以前にスタートラインにすら立てていない気がする。感震ブレーカーの性能や補助制度自体を理解していないのだから、どうしたら拡大するか以前の問題だと思う。
- ・賃貸住宅なので個人では設置できない。
- ・補助は不要
- ・制度の周知
- ・簡単な工事で設置できる
- ・戸別の発電機設置

問11：防災対策について、ご意見等がありましたらご記入ください。（抜粋） 台風21号のときに停電したのでラジオに頼ったのですが、防災ラジオでは行政からなんの情報も与えてもらえず、民放局やNHKを聞いていました。停電情報は管轄外としても行政の情報発信はどうなってるのでしょうか。警報や避難についてしか発信しないなら、普通のラジオで良かった気がします。わざわざ見た目カッコ悪い安城市の防災ラジオを購入したのに…。 地区の公民館が古過ぎて危険。建て替えのための予算待ちをしているとの事だが、町民が多く集まる場所なので、優先順位を上げてほしい。 プライベートの確保やトイレがスムーズに回る工夫、冬場の感染予防の徹底。また、小さな子供達がいるため、退屈から不安にならないような娯楽の充実。 避難地域ごとの定期的な防災訓練の実施。定期的な安全パトロールの実施。防災知識を取得できる機会を増やす。こまめな防災活動が大事になってくる。 台風時に、強い暴風で非常に怖い思いで家にいましたが、風速何mが吹いているのか詳細を知ることができず不安でした。 暴風・竜巻の時の避難情報や、知っておいた方がよい情報などが安城市のサイトやケーブルテレビで発信されていると、より安心・安全に災害に対応できると思います。 最近は大きな地震がそこかしこで発生していて、他人事ではなくなっているのを実感しています。この地方も、ずいぶん前から大きな地震が来ると言われているので、これを機に再度、備蓄等を確認したいと思います。 避難所などの設備を充実させることも大事だと思うが、一人一人が備蓄することも大事だと思うので、費用を補助してほしいです。 重度の障害者となると避難所での生活は困難で、ここ最近の災害をみているとすごく不安です。避難先での行動とか工夫とかも情報としてあればなと思います。 広報にもっと、防災情報を載せてほしい。 安城市のホームページに、災害に対する家庭での備えを掲示してほしいです。 このアンケートを通して、今一度防災対策を出来ることから見直そうと思いました。 ガラケーなので、最新情報がわからず、不安があります。 いくら「有事に備えよう」と言っても(特に)災害が少ない地域から移住してきた者は「起きてから考えれば良い」と思っている人も少なくないでしょう。地域の方が参加できる防災訓練や、非常食の試食会を兼ねた防災についての講演等、子供が参加したくなるような内容で企画して欲しい。子供が行きたいと言えば親もだいたい連れて行くと思う。 我が家はマンションなので家具の転倒防止の金具をどこに取り付けたら良いか分からない。有料で良いので業者等でやってもらえるのなら依頼したい。 ブレーカー設置補助は知らなかったので早速対象か調べてみたいと思います。ありがとうございました。 1、防災ラジオの2台目の購入を許可して欲しい。(1階と2階用に) 2、安価で短期間の工事で済む耐震補強があります。安城市でもこの方法を広めてほしいです。 3、以前市の補助で耐震補強工事をしましたが、さらに追加して耐震補強をしたいので補助が受けられるようにしてほしい。 地震も台風も身近で大きな被害を見たこともないため、この地域で暮らすにあたり、どんなものがどれだけ本当に必要かわからない。一般的な情報はよく聞いているが。とりあえず、飼い猫が迷い出て子猫を連れてこないように、それぞれ避妊去勢手術はした。 今、鹿乗川と矢作川の近くに住んでいる。河川が氾濫するのか、しないのか、情報が入らない。大雨の時は、心配になる。何か、昔にあった、町内マイクで状況を知らせて欲しい。 知らないことが多かった。食料の備蓄や転倒防止を進めたい。 安城は自然災害が過小だとして、ほとんどの市民が他人事と思っているので、災害の実録、資料を大いに展示し、時々災害対応訓練するべきでは。災害は忘れた頃に、思わぬ時にやって来ると常に広報必要ではないか。 古い我が家が倒壊した場合、備蓄した物が、安全に若しくは必ず取り出せるとは思えない。平日昼間は、子供は学校、私は市外勤務のため、落ち合う場所を決めても行けないと思う。 しなくては…と思いつつなかなか実行に移せていないのが現実。これを機会にまずは家族間での話し合いから！ 隣の町内は、夏祭りで防災備蓄の食品の期限が近くなったものを参加賞で配布していました。毎年更新されていてすごいと思うのと同時に、自分の町内がどれほどの対策をしているのか気になりました！非常食もローリング保存をすれば安心なのですが、ざっくり何かがあるだろうという感覚で多めに購入してはいますが、把握ができておらず反省しました。 防災講座や防災訓練の参加で、日々危機管理しておく。 スマートフォンやタブレットは濡らさないようにして、充電器は出来るだけ沢山充電出来るのを用意した方がいいと思います。

定期的に市民に働きかけることが大切だと思う。
防災訓練を積極的に市で行い、意識を高めてほしい。
最近では日本国内の各地で台風や豪雨や地震などの大災害が起きているが、幸いなことにこの地域では大きな被害は発生していない。しかし、この地域でもいつ起きてもおかしくない。だが私のように口ではそう言っても、実際には起きないだろうと心の中では思って安心してしまっている人が多いのも事実である。少しでも市民一人ひとりの心の中に防災を意識させるためにも、地域で各世帯1人は参加する義務がある防災訓練を行い、参加した人には防災グッズをプレゼントするなどの企画をしてほしい。
準備しておかなきゃと思いながらも中々出来ていないので、少しずつでも気を付けておきたいと思います。
缶詰やお茶など少ししか用意してないので飲料水の必要量を知り増やそうと思いました。なかなか対策できませんがやれることから少しずつやろうと思います。
地震時に停電になったらブレーカーを切っておく。
あんぱ〜くの子育て講座で、防災についての講話があり、とても為になりました。市民向けの講話も公民館などで開催があるといいなと思いました。
回覧板等で定期的に避難所の確認および防災についての記事を記載し、忘れないようにする。
猫を飼っているので災害時に避難所にペットを連れて行けないことがとても気がかりです。ペット可の避難所も設置してほしいです。
地震等の災害の情報を得る方法として、市のフェイスブックや、ホームページにあげるのが良いと思います。最近では、デタラメな情報が錯綜しています。いつも見ているホームページなら安心ができます。
特に無し。個人で出来る対策は進めている。個々の対策よりも、古い建物の耐震補強対策を考えるべきでは。民間の物でも、積極的に指導すべき。新安城駅前の古いビルも耐震性が気になります。新安城駅自体も。震度7に耐えられるのか。
安城市のホームページなどで、過去の災害の歴史や昔の地質や地形がわかる地図を、閲覧できるようにしてほしい。
毎年防災訓練はありますが町内会に入っている人が対象で訓練をしていますが、未加入の人は参加する事はありません。本当に災害が起きた時に、混乱が起きて訓練の様にいかないと思います。町内会未加入者が多すぎます。又住民の在宅も把握できないと思う。
的確に情報を収集し、早めに対処する（避難を！）
家具類の転倒や落下防止等の対策の実例講習会
最近自然災害が多いので、これを機に非常食など用意をしっかりとしようと思った。
すべての防災対策は不可能と思うので最低限の対策はしたいと思っています、携帯ラジオ、懐中電灯等を備蓄しているが、実際に遭遇したら冷静に対応し、まずは生き延びたい、後は状況に合わせて行く。
回覧板での意識向上を図っていただきたい
防災用品の無償或いは割引で支給していただけるとありがたいです。（食料品等は賞味期限があり助かりますし、トイレ用品は適切なものが良いので）
情報がありすぎて、結局何を備えていけば良いのか、わかりません。最低限何を揃えればいいのか、子供がいれば何が必要か等、分かりやすく教えて欲しいです。
町内会加入者がマンションは、少ないと思います。繋がり、災害時にとても大切だと思います。ある程度、強制加入でもよいのではないかな、、、と考えます。
いつ来るかわからないからこわい。子供が小さいので避難所まで行けるか心配。
防災トイレの設置状況や給水所情報等の防災に関する情報は、ホームページ等で通常時から情報開示されていますでしょうか？先日探してみましたが見つからなかったものですから。
私の家は、地震とこれまでに経験がなかった強烈な台風への防災対策が必要と考えている。ついてはその為に、特に地震との関係で、安城市の地図上で活断層のある場所と自分の家の関係を知りたい。またこの断層と三河地震とのも知りたい。（ハザードマップに記載など）
避難所には、せめて自家発電機とエアコンの設置をお願いしたい。
非常食を用意すると賞味期限が切れた事を忘れて捨てることが多い。倉庫に非常食と飲料水を沢山置いている。防災時に出せるのか心配。
小学校にソーラーパネルが付いているが、蓄電池も設置してあると、災害時にとても助かると思う。
なかなか防災意識は個人だと高い意識を持つのは大変です。町単位など小さな範囲で消火器や防災グッズの販売斡旋などをすると、購入したりして防災意識が高まると思います。無料配布は意欲にはならないし、税金の無駄になるのでダメだと思います。

避難所に多くの人避難されたら、収容できないと思われるが市としては、どのように考えているか聞かせてほしい。
いざという時に頼れる情報がすぐに手に入るとありがたいです。電気が使えなくなればテレビや携帯は情報源として頼れなくなるでしょう。避難所に来ることで得られる情報が、いち早く更に最も新しいものを提供することが求められると思います。どう提供すべきかは思いつかないのですが、不安と混乱の中で頼りらざるを得ないのはやはり情報ではないかと思います。
恐ろしい災害が頻発していても、どこか他人事という気もしてしまいます。安城市の歴史的な災害記録なんかから学べると少しリアルになるのか？
例えば、東北もずっとずっと前に津波到達していたけど、とか過去の教訓をどれだけ活かせるのか、どれだけ自分事として考えられるのか、というのが大事かと。非常食についてはなかなか難しいです。消費期限の管理と、常時は食べたくないものを食べなきゃいけないので。
ハザードマップで安城市は液状化現象が殆ど有りませんが、水田等を埋め立て宅地化した場所は大丈夫なのでしょうか。
老犬を二匹飼っているのですが、被災したときにどうすればよいのか？情報があるとうれしいです、もし被災された方で、家が全壊とか半壊とかで避難所生活になった場合に、我が家が無事なら犬や猫や小動物なら預かるボランティアとかもしたいです。
町内にて、年に1～2回程度の防災訓練がありますが、大変参考になっています。
町内の非常用電源をしっかりと確保して欲しいです。(太陽光など)
避難場所の快適性の向上が大切だと思いました。例えば災害時は子供や女性への性犯罪が増えるという話を聞きます。そういう犯罪を防ぐために、寝場所やトイレなど安全をしっかりとってほしいです。
防災勉強会をたくさん開催してほしいです。
安城市は人口が増えているが、避難所は対応できるのか不安がある。
今年になって自然災害のニュースがよく聞かれる(地震、大雨、台風など)。食料、水、衣服と備えるには、なかなか絞りきれないが、必要な物を再確認すること。家族の連絡手段や、集合場所をもう一度話し合う事を改めて考えたいと思う。
矢作川が決壊した場合の水位を各所に示す。道路幅の確保。
災害時に市民一体となって、対応出来るように、なんとか最小限の被害でとどまれるような対策を日頃から安城市、各家庭でも行っていく必要がある
学校や職場などで防災週間に防災グッズを配るなどして、多くの世帯に防災グッズがより多く備蓄されるようにしてほしいです。
身体障害者(災害弱者)についてももっと考えて欲しい。
市の指定避難所にどんなものが備蓄されているのか知りたい。自宅で備蓄するにも収納スペースには限りがあるため、必要なもの、いざという時に手に入りにくいものから揃えておきたいと思うため。
里町1丁目に住んでいるが、防災無線が全く聞こえない。以前住んでいた市では防災無線のテストを定期的に行っていた。安城市では行っているのか？また他市の例だが、災害時、市のHPで情報を確認しようとしても情報が分散しており、検索できず役に立たなかった。安城が災害にあった際にはトップページで情報が一元管理できるよう、平時から準備しておくとう良いと思う。
災害時、避難所となる場所を増やして欲しい。子どもも安心して避難できる場所が欲しい。
災害が起こった場合、地区ごとに避難場所がどこになるのかとか、病院とか必要なところの電話番号とか、安城市の詳しいことが書いてある冊子が欲しいです。安城市のゴミの分別の冊子がとても見やすいので、そんな感じの、情報が全て記載されている冊子を一冊、非常袋に入れておきたいです。
防災については、家族で時々話し合っていますが、いざというときに適切な対応ができるかという少し自信がないです。今回のアンケートで、安全安心情報メールというのを初めて知りました。どんなものか、詳しく知りたいです。
防災バッグなどの斡旋があると有り難い。何を買えば良いかがわからないので、スーパーなど店舗と連動して、市オススメの防災備品の販売などして欲しい。
今回のアンケートをいただき、防災について見直してみようと思いました。市民の防災に対する意識を高めるために、市でのイベントをたくさんしてほしいと思います。どこかの日にちには参加できるようにしたいと思います。
一年に一回程度、地区ごとで宿泊ありの避難体験を公民館などでできるといいなと思います。
停電になった場合、状況を把握できる手段がほとんどなくなる。P Cはバッテリー稼働でも、ルーターが消えているとダメ。ワンセグのTV、乾電池で動くラジオは大丈夫だろう。しかし、町内会の放送、大雨とかだと全く聞こえないと思う。停電になったらーということを想定して、対策が必要。スマホを持っていない人にも伝わる方法でないダメ！
特にないが、個人の意識が大切。起きてから行政に丸投げは無責任だと思う。

安城は心配される大きな災害といえば地震だろうと普段から関心を持ち、関西の大地震以後非常持ち出し袋を用意して、非常食も3年ごとに入れ替えています。でも、周りの人を見るとそういった備えをしている人はまだまだ少ないように思えます。私が強く関心を持つようになったのは、関西の地震の後、寄付のつもりで買った1本のビデオテープでした。地震の様とその時の家族の悲しい様が映されたそれは、本当にショックでした。啓発にはある程度、そういった恐ろしい様子を伝えることも必要かもしれないと思います。
サイレン式の広報がないので、危険な時自分で判断しないといけないのが不安。サイレン式広報を設置し、日常としては夕焼けこやけを流して子どもたちを早く帰るよう促してほしい。
雨で水没するので、主要道はアンダーパスにしない方が良くと思います。
市としての取り組みについて、もっとPRしていただきたいです。
災害の被害を最小限に防ぐには近所同士の助け合いが大切だと思う。先日町内会から家族構成など調査があったが、最近では近所付き合いもなく「誰がどこに何人で住んでいるか？」もわからない。独居老人や身体が不自由な方など災害時困難が予想される方々をフォローできるようなシステムを考えないといけないと思う。
マスコミ情報に惑わされずに、自宅の周辺の環境や防災マップなどを参考に被災の可能性を判断し、供えることが必要と思う。
家具の固定など、柱の場所を調べたり、工具やグッズを購入しても、素人では本当の対策は出来ていません。市の補助やサポートで工務店や電気屋さんを手伝って貰いたいです。
非常食の備蓄も1週間と言われており、水は1日に一人3Lとのことで、なかなか準備をするのも難しい。またいざという時のものは、どこに保管したらいいものかなどいろいろと考えてしまいます。全体だけではなく、戸別でも耐震のことや、いろいろと情報を提供して頂けると助かります。
災害のニュースが多いので、非常食を先日見直しました。避難所になる小学校や中学校の体育館に冷房を設置したほうが、いざというときにもいいのではないかと今年の夏場の災害ニュースを見て思っています。
一人暮らしの方、身体の不自由な方はどうしているのか気になります。
避難場所となる学校や公民館は常日頃から安全点検を徹底して欲しい。大阪の地震では揺れにより、古い施設で天井が壊れたりして石綿飛散の危険による使用不可などの記事を目にした。安城は大丈夫かと気になる。職員の目視などだけでなく、定期的に専門業者による確実な点検を行って欲しい。
また新安城駅周辺は最近マンションが多く建ち、世帯も増えていると思うが広い公園(広場)がないのが気になる。テントが張れたり、かまどになるベンチがある公園があるといいと思う。
先日の台風で、5時間停電しました。その際、安城市防災ラジオは、電池消費が早くいざという時に、電池切れで、全く役に立ちませんでした。予備の電池を用意して置けばいい事なのですが、蓄電機能、発電機能がついたものであれば良かったのにと、残念に思いました。避難場所が、遠い、狭いと不安。